

---

# 中間決算説明会資料

2004年11月

コード番号:1723

**ND** 日本電技株式会社



# 中間決算概要



# 決算ハイライト

(百万円、円、%)

	04 / 3期中間		05 / 3期中間		増減額	増減率	04 / 3期	
		百分比		百分比				百分比
売上高	6,486	100.0	5,741	100.0	745	11.5	20,522	100.0
営業利益	523	8.1	754	13.1	231		1,112	5.4
経常利益	513	7.9	726	12.7	213		1,140	5.6
当期純利益	357	5.5	443	7.7	86		621	3.0
総資本	15,467		16,274		807	5.2	17,216	
株主資本	8,238		8,555		317	3.9	9,152	
1株当たり当期純利益	43.61		54.12		10.51		68.49	
1株当たり株主資本	1,005.09		1,043.85		38.76		1,109.25	

# 貸借対照表の主な増減科目

(百万円、%)

	04 / 3 期中間		05 / 3 期中間		増減額
		構成比		構成比	
資産合計	15,467	100.0	16,274	100.0	807
流動資産	12,455	80.5	12,610	77.5	155
現金預金	3,002	19.4	2,067	12.7	935
受取手形	2,486	16.1	2,093	12.9	393
完成工事未収入金	1,315	8.5	1,758	10.8	443
未成工事支出金	4,684	30.3	5,580	34.3	896
固定資産	3,012	19.5	3,663	22.5	651
負債合計	7,228	46.7	7,718	47.4	490
流動負債	6,608	42.7	7,098	43.6	490
支払手形	2,303	14.9	1,380	8.5	923
未成工事受入金	2,432	15.7	2,927	18.0	495
固定負債	619	4.0	620	3.8	1
退職給付引当金	478	3.1	484	3.0	6

## 増減要因

- 現金預金の減少 : 営業活動による減少 (詳細はキャッシュフローのページで説明)
- 受取手形減少、完成工事未収入金増 : 主要取引先からの売上債権回収の手形レス化
- 未成工事支出金の増 : 大型物件の完工予定時期の下期延期
- 固定資産の増 : 情報システム構築、出資金・投資有価証券等の投資により増加
- 支払手形の減 : 原材料仕入代金決済の手形レス化が主因

# 損益の状況

(百万円、円、%)

	04 / 3期中間		05 / 3期中間		増減額	増減率
		百分比		百分比		
売上高	6,486	100.0	5,741	100.0	745	11.5
売上原価	5,249	80.9	4,641	80.8	608	11.6
売上総利益	1,236	19.1	1,099	19.2	137	11.1
販売費及び一般管理費	1,760	27.1	1,854	32.3	94	5.3
営業利益	523	8.1	754	13.1	231	
営業外収益	13	0.2	58	1.0	45	346.8
営業外費用	2	0.0	30	0.5	28	926.6
経常利益	513	7.9	726	12.7	213	
特別利益	7	0.1			7	
特別損失	80	1.2	2	0.0	78	96.7
中間純利益	357	5.5	443	7.7	86	

**売上高計上が第4四半期に集中するため、第3四半期まで当期純損失となることが常態**

売上総利益：売上利益率は前年同期水準を維持するも売上減が響いて減少

営業利益：売上総利益減少・販売費及び一般管理費の増により営業損失増

経常利益：営業外損益(純額)が増加するも経常損失増

中間純損失：特別損失が減少するも、以上の結果中間純損失前年比増

# キャッシュフローの状況

(百万円)

	04 / 3期中間	05 / 3期中間	差額
営業活動によるキャッシュフロー	762	78	684
投資活動によるキャッシュフロー	376	374	2
財務活動によるキャッシュフロー	189	90	99
現金及び現金同等物の期末残高	3,002	2,067	935

## 主な要因

1. 営業活動によって得られたキャッシュフロー : 78百万円  
売上債権の減少、未成工事受入金等の増加に対し  
未成工事支出金等の増加、仕入債務の減少、税引前中間純損失の増加
2. 投資活動に使用したキャッシュフロー : 374百万円  
投資有価証券取得、情報システムの開発投資による支出
3. 財務活動に使用したキャッシュフロー : 90百万円  
利益処分による配当金支払

# 事業別受注高、受注残高

(百万円、%)

	04 / 3期中間				05 / 3期中間			
	受注高	構成比	受注残高	構成比	受注高	構成比	受注残高	構成比
空調計装関連事業	10,135	89.3	13,653	93.5	9,853	87.8	13,174	92.9
空調計装工事	9,939	87.5	13,653	93.5	9,678	86.3	13,174	92.9
新設工事	4,213	37.1	8,011	54.9	3,107	27.7	6,606	46.6
既設工事	5,725	50.4	5,642	38.6	6,570	58.6	6,567	46.3
制御機器販売	196	1.7			174	1.6		
その他の計装関連事業	1,220	10.7	946	6.5	1,368	12.2	1,002	7.1
その他の計装工事	1,058	9.3	946	6.5	1,142	10.2	1,002	7.1
制御機器販売	162	1.4			226	2.0		
合計	11,356	100.0	14,600	100.0	11,222	100.0	14,176	100.0

# 事業別売上高

(百万円、%)

	04 / 3期中間		05 / 3期中間	
		構成比		構成比
空調計装関連事業	5,657	87.2	4,671	81.4
空調計装工事	5,460	84.2	4,497	78.3
新設工事	2,882	44.4	1,905	33.2
既設工事	2,578	39.8	2,591	45.1
制御機器販売	196	3.0	174	3.1
その他の計装関連事業	828	12.8	1,069	18.6
その他の計装工事	666	10.3	843	14.7
制御機器販売	162	2.5	226	3.9
合 計	6,486	100.0	5,741	100.0

# 今後の見通し、戦略



# 05 / 3期業績見通し

(百万円、円、%)

	04 / 3期		05 / 3期見通し		増減額	増減率	05 / 3期 当初見通し
		百分比		百分比			
売上高	20,522	100.0	21,000	100.0	478	2.3	21,500
営業利益	1,112	5.4	750	3.6	362	32.6	1,150
経常利益	1,140	5.6	800	3.8	340	29.8	1,200
当期純利益	621	3.0	450	2.1	171	27.6	700
総資本	17,216		17,200				17,450
株主資本	9,152		9,387				9,616
1株あたり当期純利益	68.49		48.80				78.08
1株あたり株主資本	1,109.25		1,139.21				1,165.86

# 事業別受注高、売上高見通し

(百万円、%)

	04 / 3期		05 / 3期見通し					
	受注高	売上高	当初見通し	受注高	構成比	当初見通し	売上高	構成比
空調計装関連事業	17,107	18,289	19,350	17,820	87.4%	19,100	18,415	87.7%
空調計装工事	16,650	17,832	18,900	17,390	85.2%	18,650	17,985	85.6%
新設工事	6,957	8,233	8,400	6,800	33.3%	8,400	7,550	36.0%
既設工事	9,692	9,598	10,500	10,590	51.9%	10,250	10,435	49.7%
制御機器販売	457	457	450	430	2.1%	450	430	2.0%
その他の計装関連事業	2,381	2,232	2,450	2,580	12.6%	2,400	2,585	12.3%
その他の計装工事	1,989	1,840	2,050	2,130	10.4%	2,000	2,135	10.2%
制御機器販売	392	392	400	450	2.2%	400	450	2.1%
合計	19,489	20,522	21,800	20,400	100.0%	21,500	21,000	100.0%

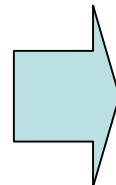
# 各事業期首戦略と見通し概要(その1)

## 空調計装 / 既設

### 利益の源泉であり、さらなる源泉 の入り口となる事業

お客様の課題、ニーズを把握できる  
事業

お客様の設備に関するパートナーへ  
人財の育成、確保をさらに積極化



## < 通期見通し >

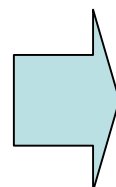
受注・・・大幅増、売上・・・大幅増  
利益・・・減少(前年同期比・以下同じ)

- ・量の確保は予定通り
- ・利益率はやや悪化

## 既設のうち、ソリューション事業(既設提案)

### 当社の将来を担う事業

最注力事業として積極展開



受注は増加も、売上、利益は  
想定より伸びず

景気回復傾向を受け、提案の  
収穫は来期以降か  
(予算確保 受注・・・2年必要)

# 各事業期首戦略と見通し概要(その2)

## 空調計装 / 新設

**全ての事業の基礎** ……当事業の充実  
なくして他事業の拡大なし

従来の「守り」の営業 積極的物件確保の  
事業展開  
厳しい受注環境は「フィールドの技術力」  
でカバー

## < 通期見通し >

受注……微減、売上……減少  
利益……大幅減

- ・ストック物件確保は成果あり
- ・大型不採算物件完工で利益減

## その他の計装関連

**拡大事業として注力** ……未開拓分野  
が多い市場 / 民間設備投資活発化

従来は独立した事業展開 今後は空調  
計装事業とリンクさせた事業展開  
・工場建屋空調を手掛けたお客様も対象へ

受注……増加、売上……増加  
利益……増加

- ・期首戦略奏効および市況好調
- ・これらを反映し、受注、売上、  
利益とも増加の見通し

# 下期の収益確保について

収益悪化主要因は、

・売上・・・新設工事の大型物件完工予定が下期にずれ込んだため

某生命保険会社ビルおよび再開発：約8億円

某家電メーカー工場空調工事：約5億円

・利益・・・上記物件の低採算性および小型既設工事増加による一層の下期売上偏重傾向

当期(下期)受注、当期(下期)売上の対年度売上に占める比率

01/3期:3.2% 02/3期:9.6% 03/3期:14.2% 04/3期:17.3%

05/3期予想:約18%

ともに下期でカバーできる要因

# ソリューション事業戦略

ドメイン強化

あらゆる領域の計装へ

・工業、産業市場の設備

計装技術者のレベルアップ

・提案能力のさらなる向上

・積極的な人財育成、確保

提携、M & Aも

省エネルギー  
保証ビジネス  
ESCO事業

<コアドメイン>

ソリューション事業  
(計装によるソリューション)

ソリューションツール拡大

・照明調光システム、

マイクロコージェネレーション

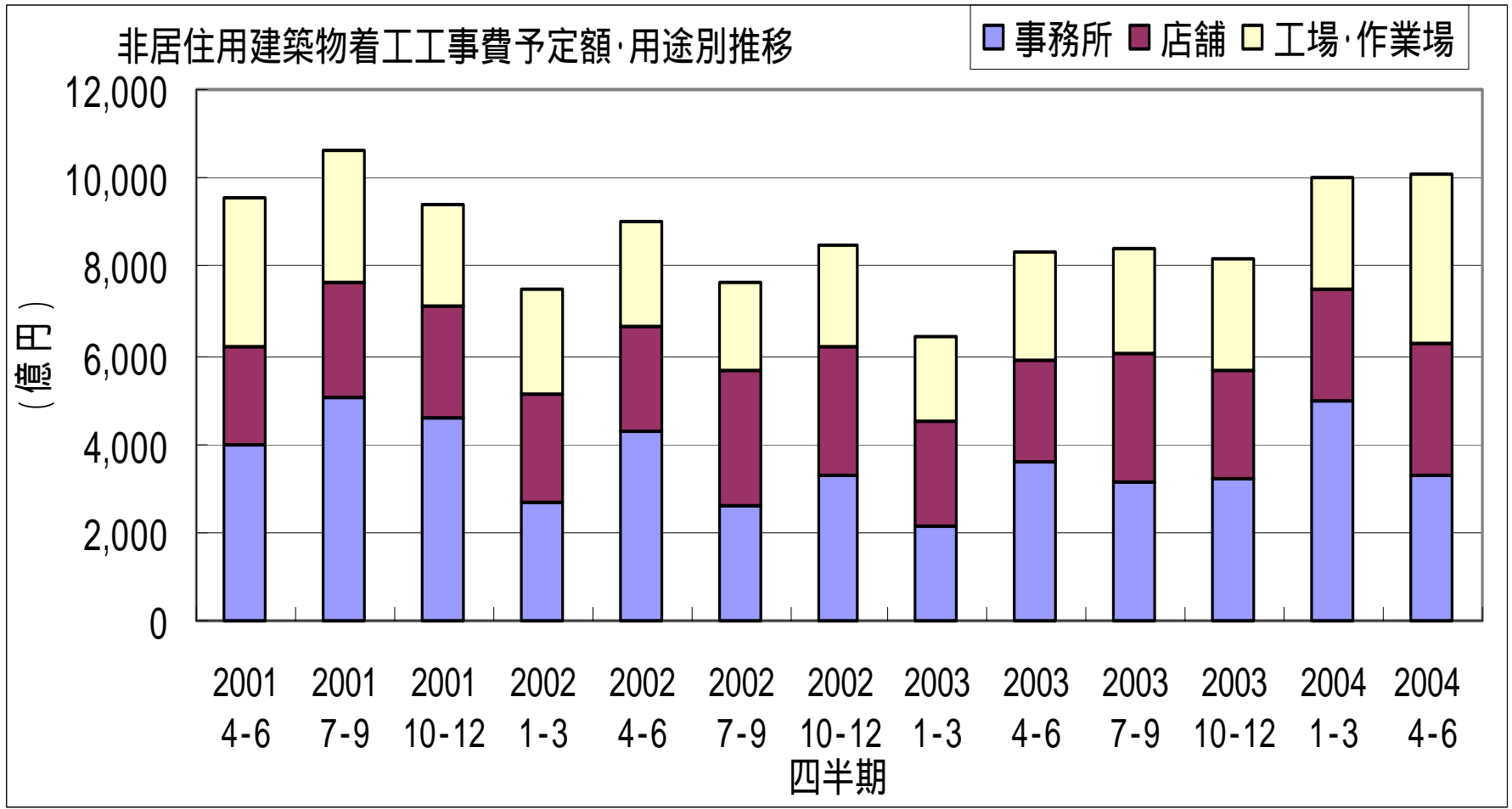
・あらゆる課題への対応

…セキュリティー、  
環境改善など

新規事業の展開

領域拡大

# 外部環境(その1)



**建設投資環境は着実に回復しつつある**

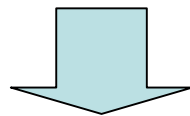
国土交通省統計より

# 外部環境(その2)

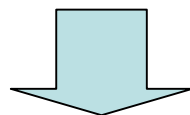
建設投資額、民間設備投資額の増加傾向に加え  
当社の事業環境には追い風が...

省エネ改修工事の伸び  
改正省エネ法  
京都議定書のロシア批准

...補助資料5、6ページ参照



ソリューション事業について、今年度からの立ち上がりを期待していたが、若干の遅れ  
< 景気回復時期、予算化プロセス、中小顧客への波及の遅れ >

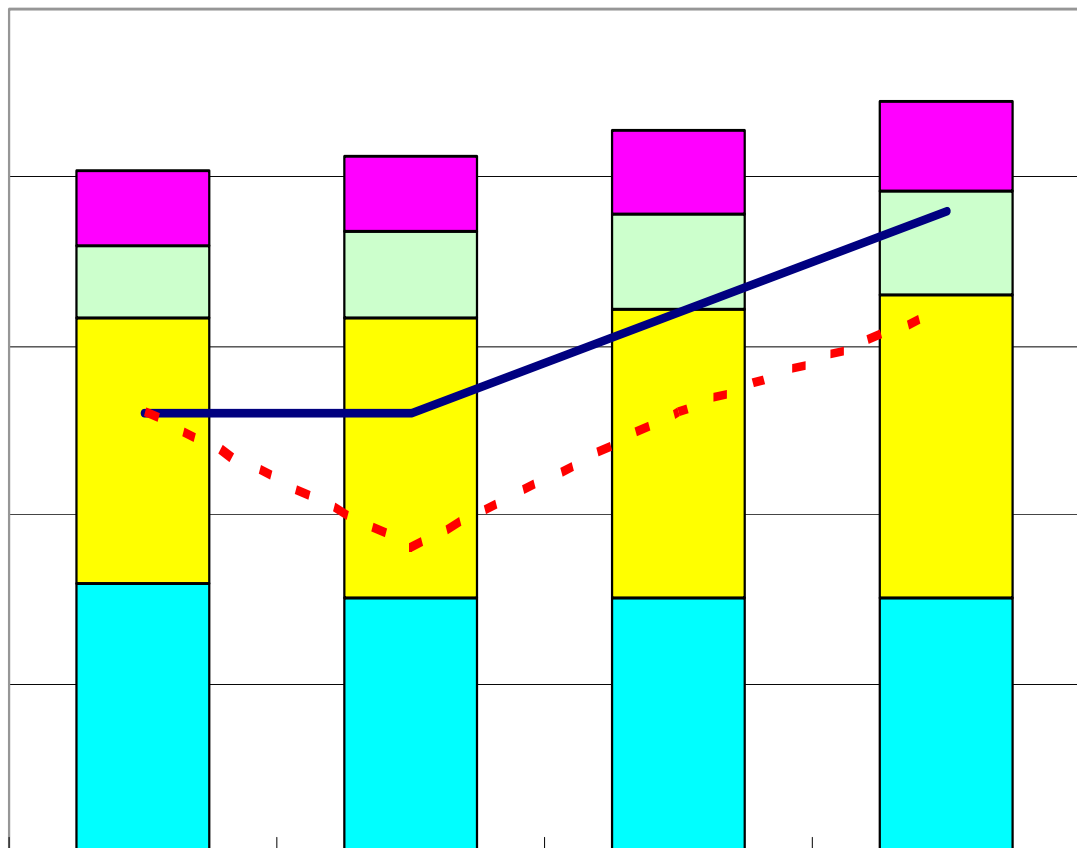


今年度下期、来期からの立ち上がりに期待

# 中期事業計画イメージ

売上高

営業利益



04/3期実

05/3期見

06/3期

07/3期

ソリューション  
最注力事業 6%成長

その他の計装関連  
拡大事業 10%成長

空調計装・既設  
成長市場 6%成長

空調計装・新設  
売上を05/3期ベースでキープ

営業利益  
05/3月期は投資、種まきの時期  
(人的投資、情報システム投資)

営業利益  
06/3月期以降に収穫の時期  
(ソリューション、その他計装に反映)

05/3期増収・利益横ばいの計画  
増収減益・・・06/3期反転へ



本日の説明会ならびに、IRに関するお問い合わせ等  
ございましたら、日本電技(株)経営企画室 までご連絡ください。

03 - 5624 - 1011

<http://www.nihondengi.co.jp/>

[ndkeiki@nihondengi.co.jp](mailto:ndkeiki@nihondengi.co.jp)

当資料に記載されている日本電技の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、  
これらは、現在入手可能な情報から得られた日本電技の経営者の判断に基づいています。  
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。